

市報 やまぐち

1999 11/1 NO.1255

NOVEMBER

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

青少年健全育成強調月間
伝統的工芸品 大内塗
平成11年度上半期財政公表

本文中の市内局番は、11月11日
午前2時から3ケタに変わります
ので、お気を付けください。





今年7月、平川地区青少年健全育成協議会と平川地区社会福祉協議会が設置した啓発塔

子どもは地域で育つ 地域は子どもで結ばれる

11月は全国青少年健全育成強調月間

11月は「全国青少年健全育成強調月間」です。青少年が心身ともに健やかに成長することは、みんなの願いです。この機会に大人と子どもたちがふれあい、次代を担う青少年の健全育成について考えてみましょう！

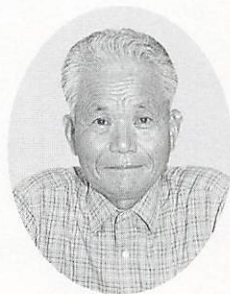
健全育成は地域ぐるみの取り組み

市では、「子どもは地域で育つ地域は子どもで結ばれる」出合い

ふれあい ふるさとづくり」を基本理念として、家庭、学校、職場、地域ぐるみの健全育成を推進しています。特に地域に重点を置いて、地域づくりや地域活動の充実・促進などを支援しています。

市や16地区青少年健全育成協議会など関係機関・団体と連携し、全市的に健全育成活動の促進をしている山口市青少年健全育成市民会議。市と一緒に親子ふれあいジャンボリーを実施するなど、親子のふれあいを通して子どもたちの健全育成を進めている山口市母親クラブ連絡協議会。両団体の代表の方に、お話をうかがいました。

もつと地域でふれあう機会を



山口市青少年健全育成市民会議会長 松永正己さん

近年、私たちの社会は少子化や高齢化など、めまぐるしく変化しています。子どもたちを取り巻く環境も変わっています。

核家族化によって、子どもたちがおじいちゃんやおばあちゃんとおふれあう機会が少なくなっています。また、両親の共働きが増えて、親とのふれあいさえ少なくなっています。

います。まして、近所の人たちとのふれあいはもつと少なくなっていると感じます。

子どもたちを心身とも健やかに育成するためには、自然や家庭・社会の中で「出合い」「ふれあい」「かわりあい」「支えあい」「いたわりあい」を大事にしないといけないと思います。

地域、学校、家庭が協力して、子どもたちを見守っていくことも必要だと思っています。

子ども会によっては、行動力のある若い指導者を必要としているところもあるので、若い人たちにどんどん参加していただければいいですね。

これからも、子どもたちと地域がふれあう機会を増やして、子どもたちの健全育成に少しでも役に立てればと思っています。

くつろぎとふれあいを大切に



山口市母親クラブ連絡協議会会長 大窪 壽子さん

子どもたちが参加できる行事はたくさんありますが、人とのふれあいが少ないですね。

今は、子どもたちがくつろげる居場所が少ないと思います。子どもたちは、大人が思っている以上に、学校以外の習いごとや塾通いなどで、余裕がなくて疲れています。私も子どもがおりますので、家庭では、子どもたちがくつろげるように心がけています。

昔は、近所の子どもたちが学年をこえて遊ぶのが当たり前でしたが、今はグループで遊ぶより一人で遊ぶ子どもたちが増えていきます。母親クラブでは、グループで遊ぶ良さなどを知ってもらうために、

親子ふれあいジャンボリーや三代交流としてしめなわづくり、もちつき、たこづくりなどを行っています。

親子ふれあいジャンボリーや三代交流としてしめなわづくり、もちつき、たこづくりなどを行っています。

親子ふれあいジャンボリーのドッジボール大会では、自主的に近所や塾の友達で作ったグループで参加している子どもたちが多く、とてもうれしく思います。

これからは、季節感あふれる行事、迷信や昔の知恵などを近所のおじさんやおばさんが教えてあげるといった行事も行っていきたくて考えています。

やまぐち子どもセンター

「今度の休みに、みんなで参加できるおもしろそうなイベント、なんかないかねえ。」「親子でボランティア活動してみたいんじゃないけど…」

こんな情報がほしいなと思ったことはありませんか？そんなときには、「やまぐち子どもセンター」がお手伝いします。

文部省は、夢を持ったたくましい子どもを地域で育て、平成14年度（2002年度）の完全学校週5日制の実施に向けた環境を整備するために、今年度から「全国子どもプラン（緊急3か年戦略）」を実施しています。このプランには、全国で1000か所程度の設置を目標にしている「子どもセンター」の展開があります。

「やまぐち子どもセンター」は、市内および市周辺を対象としたもので、県内8か所に設置されたセンターの一つです。山口市青少年健全育成市民会議や山口市子ども会育成連絡協議会などを中心に、市民ボランティアと行政が協力しあって、次のような活動を行います。

- ①子どもに関する行事・イベントやサークルなどの情報を集めます。
- ②集めた情報を楽しい情報誌やインターネットを通じて子どもたちに届けます。（当面、市内の保育園児、幼稚園児、小学生、中学生すべてに配布予定）
- ③電話などでいろいろな情報やお問い合わせを受け付けます。

親や子どもたちに情報を提供する総合情報誌は、年4回（今年度は3回）作成する予定ですが、10月に創刊号を発刊しました。今後多くの方の声を聞かせていただき、より良いものにしていきたくて思っています。

この情報誌の名前がまだ正式には決まっていませんので、いい名前があればお寄せください。また、新しいボランティアスタッフも募集しています。

みなさんの応援をよろしくお願いします。

◇問い合わせ

やまぐち子どもセンター事務局
〒753-0064 神田町1-80 防長青年館内
☎23-6088 ☎23-0992

「21世紀への贈り物」

提言募集

■応募資格

どなたでも応募できます。

■提言の形式 ①②③いずれか

- ①2000字程度の文章…タイトル（題）をつける。
- ②イラストレーション・絵・4コマまんが…A4版、タイトル（題）をつける。
- ③写真…キャビネ版サイズ、説明をつける。

■応募方法

はがき、封書、ファックス、Eメール（郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記）のいずれかの方法で応募してください。

■賞品

選考委員会で、心に響いた21点を選考し、賞品を送ります。

- 締切 11月10日（水・消印有効）
■送り先・問い合わせ先

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立

青少年センター内

（社）青少年育成国民会議「21

世紀への贈り物」提言募集係

☎03-3460-4151

☎03-3460-1603

Eメール nobinobi@nayd.or.jp

人として 生きる願いを たいせつに

11月11日～20日は 同和問題啓発推進強調旬間 です

国際的な人権意識の高まりの中、同和問題などの人権問題に対する正しい理解と認識を深め、同和問題の真の解決と人権意識の向上に努めましょう。



ポスターの審査風景

山口県同和問題啓発推進強調旬間にちなんで、市内の中学生にポスターの作品を募集したところ、総数110点の応募がありました。

審査の結果(順不同、敬称略)、

【特選】津守麻依子(大内中3年)

【入選】徳本 洋子(大内中3年)

田村 恵子(大内中3年)

小柳 信子(宮野中2年)

深田 穂 (大殿中2年)

に決まりました。



津守さんの作品(特選)

みんな平等に笑顔で暮らせるように

津守 麻依子さん



受賞したポスターは、夏休みの課題として仕上げたものです。中学

校では美術部に所属し、毎月課題作品と自主制作を1作品ずつ仕上げています。ポスターを得意としています。この作品は「身体の障害や出身地などによる特別な扱いがなくなり、みんな平等に笑顔で暮らせるように」との願いを作品の中に表現しました。

☆☆同和对策事業特別措置法
☆制定30周年記念行事

特別措置法が昭和44年に制定されてから、今年で30周年を迎えます。

この機会に同和行政を振り返るとともに、同和問題の早期解決

について一緒に考えてみませんか。

◇日時 11月16日(火) 午後1時～3時30分

◇場所 ば・る・るプラザ山口

◇内容 高州盆踊り保存会(光市)による太鼓の演奏、記念講演

「同和問題の早期解決にむけて」(財)人権教育啓発推進センター

一理事 宮崎繁樹氏

◇問い合わせ 県人権対策室(☎

33-2810)

れてきたことを忘れてはならない。

ただ単に遊びやゲームのように生活の潤滑油として取り扱って良いものなのか、私たちの生き方をより豊かにする価値のあるものなのか、も

しかして他人を傷つけてしまう身勝手なものではないか、こうしたものは、自分の生き方と結びつけてしっかりとした判断をしなければなら

ない。その底にあるのは、一人の人間としての尊厳を大切にすることだと思

うからだ。

(同和教育室)

同和・人権問題を考える

「茶柱が立ったから良いことがある」「蛇の夢を見たらお金が入る」「今日は三隣亡だからじつとしてい

る方がいい」「夜、爪をつむと悪い

ことが起きる」・・・こうしたこ

とは子どもの頃からもつとももらし

く、何の根拠も示されず聞かされて

きたことである。いわゆる迷信、言

い伝えの類である。

も随分目にする。人は皆、そうした

ことに深い根拠も意味も感じていな

いからこそ軽い気持ちで話題にして

いるのであろう。

「丙年に生まれたから」「年回り

が悪いから」「大安吉日だから」「厄

年であるから」「女三界に家なし」

「女人禁制」「男冥利に尽きる」「男

(女)のくせに」・・・

こうした迷信やことわざ、言い伝

えの類は、ごく普通の良識を持った

一般庶民の中で受け継がれ、伝承さ

成人の日は

1月第2月曜日に変わります

「成人の日」といえば1月15日でしたが、平成12年からは毎年1月の第2月曜日に改定されました。市では、新成人のつどい（成人式）を平成12年1月10日（月・祝）午後1時30分から市民会館で行います。該当者は、昭和54年4月2日から昭和55年4月1日の間に生まれた人です。

案内状は、平成11年11月1日現在の住民基本台帳をもとに作成し、12月上旬に本人宛に送付する予定です。

なお、他市町村に住民登録がある人で、山口市の新成人のつどいに参加希望の人は、市生涯学習課（☎34-2866）にご連絡ください。

「20歳の意見」募集

あなたの夢や希望、日ごろ考えたり感じたりしていることを文章でまとめてみませんか？

◇対象者 1月10日新成人対象者（昭和54年4月2日から昭和55年4月1日の間に生まれた人）で、



今年の新成人のつどい

市内在住・在学・在勤の人

◇申し込み 12月3日（金・消印有効）までに2000字以内にとめ、封書またはEメール（住所・氏名・性別・生年月日・電話番号を記入）でお申し込みください。

◇申し込み先 市生涯学習課「20歳の意見」係（〒753-8650 亀山町2-1、Eメール cityyama@yng.urban.ne.jp）へ

※優秀作には賞金を贈呈します。（結果は年内に通知します。）

- ・最優秀（1点） 3万円
- ・優秀（2点） 1万円

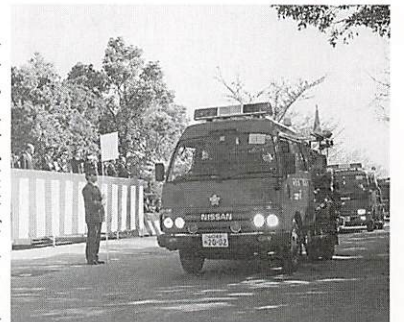
シリーズ 70周年

本市の消防は、平成元年に小郡町と共同で組合を設立し、山口・小郡消防組合が消防業務を行っています。今回は、消防組織の変遷を中心に紹介します。

初期の消防は公設山口消防組により行われていました。明治24年に結成されたこの組織は、現在の消防団に近い組織で、昭和4年には5部200余名で編成されました。創設当時の装備は人力主体の機械が中心でしたが、市制施行の頃からポンプ自動車など動力機械が導入されました。

戦時体制下の昭和14年には、警防令が公布され消防組は解散し、新たに警防団が結成されました。警防団は水防・消防・郷土の防衛にあたり、辞令は山口警察署で交付されています。その活動は一般の防災のみならず、空襲に備えた防空訓練も行っています。

現在の消防組織の形態は、戦後に登場しました。市独自の消防組織は、昭和23年の地方自治法の確立による山口消防署の発足からです。消防団は、前年の警防団の解散と同時に、改組されています。



昨年、自治体消防50周年を記念して行われた観閲式

一方、救急業務が法的根拠をもつて、開始されたのは昭和38年消防法の一部改正からです。昭和40年には、装備の整った救急自動車が入り、この時の市報には、事故の通報要領、搬送できるもの・できないものが紹介されています。平成8年には高規格救急車「きゅうめいくん」が、導入されました。これを機に急病人等を搬送中に、心電図等を市内の総合病院へ送信できるようになり、医師の適切な指示を受け救急救命士が、応急処置を行うようになりました。

消防は男性だけの組織でしたが、平成元年に消防団は女性消防団員を採用。平成10年、県下初の女性消防士を消防組合で採用し、消防組織の充実を図っています。市消防団員606人、消防組合職員141人が市民を火災等の災害から守っています。

あぶないよ

ひとりぼっちにした その火

平成11年度秋季全国火災予防運動 11月9日(火)～15日(月)

寒さが増すにつれ、火を使うことが何かと多くなってきました。

便利で、大切な火ですが、取り扱いを誤ると災いとなります。火災の発生を防止して、死傷事故や財産の損失を防ぎましょう。

コンロ火災が増加

山口・小郡管内の火災は9月末までに51件(山口44件・小郡7件)発生しており、昨年の同時期(33

件)に比べ、18件も増加しています。

原因別発生件数で見ると、コンロ(天ぷら油火災を含む)が6件、放火、放火の疑いを含むものが6件、たばこが原因によるものが4件、たき火・草焼きが3件、火遊びが3件、その他となっており、コンロ火災については昨年同時期に比べ4件も増加しています。コンロ火災は“ちよつとのつもり”でそ

の場を離れ、そのまま忘れてしまったものがほとんどです。天ぷら油は、高温になると口火がなくても発火します。「コンロの火、つけたら逃げない、忘れない」を motto として台所を離れるときは、必ずコンロの火を消す習慣をつけましょう。

火の用心7つのポイント

- 1 天ぷらを揚げるときはその場を離れない
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 3 ストープには燃えやすいものを近づけない
- 4 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- 5 風の強いときはたき火をしない
- 6 子どもにはマッチやライターで遊ばせない
- 7 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない

2000年問題相談窓口を開設

2000年問題は「今年の問題」です

西暦2000年になると、コンピュータシステムが誤作動し、世界中でさまざまなトラブルを引き起こすといわれている「西暦2000年問題」。2000年まであと2か月となり、早急な対応が求められています。

市では市民および市内中小企業等に対して、2000年問題に関する相談および情報提供を行う窓口を11月1日に開設しました。

2000年問題相談窓口(市情報企画課)

- 開設時間 午前9時～午後5時
(月曜～金曜・祝日を除く)
- 電話番号 34-2755
- fax番号 32-1779
- Eメール cityyama@ymg.urban.ne.jp



消防フェスタ'99

- 日時 11月7日(日) 午前10時30分から午後2時まで
 - 場所 やまぐちリフレッシュパーク第3駐車場(大内長野)
 - 内容 救出救助訓練、地震体験コーナー、煙の中での避難体験、ビンゴゲーム、防火餅まきほか
- 消防演習**
- 日時 11月9日(火) 午前10時から
 - 場所 ケアハウス悠々(吉敷)

山口市が 在宅福祉事業で 厚生大臣表彰受賞

山口市はこのたび、在宅福祉事業推進功厚生大臣表彰を受けました。今回受賞したのは、24時間ホームヘルプサービス事業、痴呆性老人向けグループホーム等の高齢者在宅福祉事業に対する先進的、モデル的事业への取り組みが評価されたものです。

受賞式は、10月6日に東京都千代田区松本楼で行われ、原助役が表彰状を受け取りました。

市では、これからも高齢者福祉の増進に努めていきます。

伝統的工芸品



大内塗

大内人形で市民にもなじみの深い大内塗は、平成元年国の伝統的工芸品の指定を受けています。伝統的工芸品は、現在全国で193品目が指定されていますが、県内では大内塗のほかは下関市と楠町の赤間硯があります。11月の伝統的工芸品月間にちなみ大内塗を取材しました。

西の京の面影を今に伝える大内塗

大内塗がいつ頃から作られていたかは、はっきりとは分かりませ



んが、室町時代、大内氏が発布した法令をまとめた「大内氏掟書」の中に、刀の柄（つか）や鞘（さや）を漆で塗る代金の記録があり

ます（文明17年／1485年）。また、李氏朝鮮（1392年～1910年）の年代記である「李朝実録」には、室町時代における大内氏との交易の様子が書かれており、大内氏が、漆製品を重要な輸出品の一つとしていたとあります。これらの資料により、少なくとも15世紀には山口において漆工芸がさかんに行われていたことが推測できます。

この時代のもので、今でも残っている品物としては、文明10年（1478年）の箱書きのある長方形の「猫足四脚付きの盆」があります。また、防府市の毛利博物館

に所蔵されている県指定有形文化財「枝

菊漆絵椀」（大内椀とも呼ばれる）もこのころに作られたものであるといわれています。ちなみにこの椀の模様が、明治になって取り入れられ現在の大内塗のデザインモデルになりました。

天文20年（1551年）に大内義隆が討たれると大陸との交易も終わり、漆器工業は大きな打撃を受けましたが、その後も生産は続いてきたようです。

天保年間（1830年～1844年）に作られた「防長風土注進



現在の大内塗りのデザインのモデルとなった県指定文化財「枝菊漆絵椀」（毛利博物館所蔵）
*11月2日から28日まで毛利博物館で開催される特別展「国宝」で展示されます。





加飾工程

金箔を貼ったり、色漆で人形の柄や顔を書いていく。神経を使う作業。



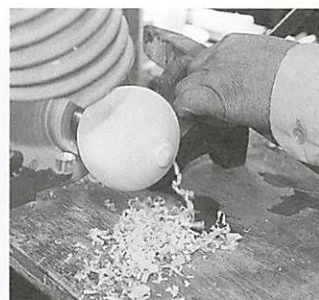
研ぎ工程

漆を塗っては研ぐ作業を何度も繰り返す。手間暇のかかる作業。



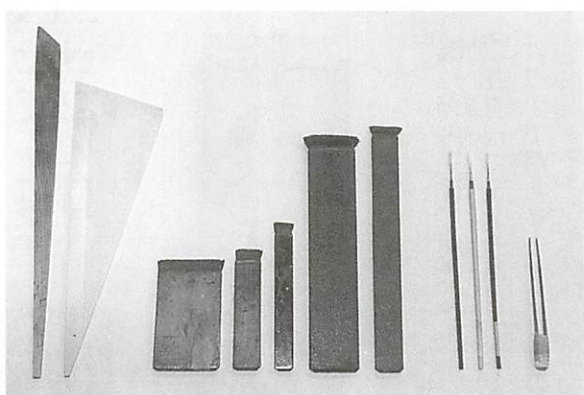
塗装工程

下地、下塗り、中塗り、上塗りとそれぞれ違う漆を何度も塗っていく。



木地工程

2～5年乾燥させたエゴノキをろくろを使って人形の形に削っていく。



漆塗りに使われる道具。刷毛には、海女の髪の毛が使われている。



漆は、湿度が高い方がよく乾くという性質をもつため、室（むろ）と呼ばれる板張りの押入のような所に湿度を管理しながら乾燥させる。

完成まで3か月から1年以上かかる大内人形

大内塗製品の7割以上をしめる大内人形。漆器の人形というのは全国でも珍しく、山口のほかには和歌山県に紀州人形があるのみといわれています。

昭和に入ってからの大内塗は、第二次世界大戦や中国との貿易の中断により漆が手に入りになくなったこと、プラスチック製品が出回りはじめたことなどにより、作りにくく、売りにくい状況になりましたが、大内人形をはじめとする新製品を作るなどの工夫をして、伝統的な技術や技法を現在まで伝えていきます。

案」には、山口のまち全体の屋敷数1544軒のうち椀屋が30軒あったことや、その生産量なども記載されていることから江戸時代においても山口で漆工芸がかなり行われていたことがうかがわれます。明治の後半には、吉敷郡役所内に吉敷漆器講習所が設置されました。そして大正7年、市内堅小路にできた山口県工業試験場には「漆工課」が置かれ、昭和42年まで漆器について研究・開発が行われました。

大内人形の素地になる木は、エゴノキ（チナイともいう）という広葉樹で、割れにくく適度な重さがあることから使われています。全国どの山にもみられる木ですが、最近では、山の仕事が減っていることから手に入りになくなっていきます。

大内人形の工程は、2～5年かけてゆっくり乾燥させたエゴノキを人形のかたちで削るところからはじまります。この仕事は、木地屋さんと呼ばれる職人さんが受け持ちます。漆塗りの職人は、下地工程というところからはじめます。まず、人形のかたちに削られた木に漆の原液を塗り込んでがんじょうにします。次に下地漆を塗って乾燥させた後に、砥石や研磨紙などを使って表面を水研ぎします。必要に応じてこれを何回か繰り返して下地工程が終わります。次に下塗り漆を使って下塗りを行います。これを乾燥させて、表面を研ぎます。塗っては研ぐという作業を繰り返しながら、中塗り、上塗りと進んでいき、最後に色漆や金箔などを使って、人形の衣装や顔を書いてできあがります。完成まで、大きいものでは1年以上もかかります。



伝統的工芸品 大内塗



大内人形のおこり

山口に居を構えた大内氏24代弘世は、都から美しい姫を花嫁に迎えました。都人である夫人にとっては、山口の地はわびしく、遠く華やかな都の空をなつかしんでは、毎日寂しい思いで暮らしていました。弘世は、なんとか夫人の気持ちを慰めようと、都風俗の人形を取り寄せ、人形御殿と呼ばれるほど屋敷中ま仲人形で飾ったと言われている。この話がもとになって、現存の大内塗製品の7割以上を占めているということだ。

松原路子さん



西の京の伝統工芸を受け継ぐ

伝統工芸品の多くは、後継者不足の問題を抱えており、大内塗も例外ではありません。そんな中、一人の若い女性が、大内塗の世界に飛び込んできました。松原路子さん23歳。彼女は、高校生の時、山口ふるさと伝承総合センターで開催された大内塗教室に参加したことがきっかけで、プロの職人を目指すことを決意。高校卒業後、高松にある漆塗りの学校に3年通い、さらに京都で1年間勉強して、今年の4月からふるさと伝承総合センターで修行中です。

「漆の艶、質感にひかれました。漆塗りの仕事は、心の贅沢、心のゆとりに必要な産業だと思います。使う人が楽しくなるようなものを使いたい。」

作りたいです。」と抱負を語る松原さんは、今年度の山口市美術展覧会に初出品し入選を果たしました。松原さんの指導者で大内塗漆器振興協同組合の事務局長を務める富田潤二さんは「漆工芸は、一人前になるまでに年数がかかります。また、景気に左右されるといってもあり、後継者の問題はどこも悩みの種です。」と話されます。

大内塗の魅力を多くの人に分かってほしい

松原さんがプロを目指すきっかけとなった、大内塗教室は、山口ふるさと伝承総合センターの開館がきっかけで始められたもので今

年で7年目。現在、70人以上の人が参加し、遠くは、福岡県や広島県から通う人もおられるそうです。「多くの人が大内塗に触れることでその魅力を分かってもらえたらと思います。」と富田さん。この教室のほか、ふるさと伝承総合センターでは、大内塗の箸づくりの体験も行っており、見学や学習を含め、年間約3000人が訪れているということです。

このような、大内塗への理解を深める活動とともに欠かせないのが、新製品への取り組みです。「古代朱と呼ばれる独特の赤色と秋草に大内塗の伝統的な図柄が大内塗の特徴です。この伝統を守りつつも、新しいものも出していかないと、消費者にあきらめてしまします。」と富田さん。これまで組合では「大内姫」や新しいデザインの「銘々皿」などにも取り組んでこられました。大内人形をしのぐヒットはまだ生まれていないということです。

最近、若いデザイナーによって大内塗のペンダントや携帯電話のストラップなどの商品が開発されるなど、新しい動きも出てきており、県内唯一の漆工芸産地を守る取り組みも次第に広がってきています。



山口ふるさと伝承総合センターの大内塗教室

平成11年度上半期

財政公表

市の予算がどのように執行されているかをみなさんにお知らせするため、平成11年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

◆一般会計

一般会計は当初433億1700万円スタートしましたが、その後、国の少子化対策を盛り込んだ緊急雇用対策や台風18号の被災に伴う13億6151万円の追加補正などを行い、9月末現在で総額446億7851万円となっています。特に台風18号の被災に伴う補正予算については、3億4120万円を9月30日付けで市長専決

を行うなど早急な対応を行ったところです。

他の補正の主な内容は、少子化対策事業に1億5845万円、緊急地域雇用特別交付金事業に376万円、矢原町土地区画整理事業に1億1500万円、義務教育施設大規模改造事業に9050万円などです。

9月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表1のとおりで、収入済

一般会計の収支状況 (9月末現在) 【表1】

入			出		
項目	予算現額(万円)	収入済率(%)	項目	予算現額(万円)	執行済率(%)
市税	1,882,782	55.3	議会費	35,779	46.2
地方譲与税	40,000	28.8	総務費	609,637	49.6
利子割交付金	15,000	43.6	民生費	985,354	41.8
地方消費税交付金	130,000	55.3	衛生費	457,225	61.5
ゴルフ場利用税交付金	4,500	36.8	労働費	11,455	85.0
自動車取得税交付金	31,000	31.2	農林水産業費	229,758	43.9
地方特例交付金	52,000	91.2	商工費	214,429	64.9
地方交付税	618,052	77.7	土木費	923,099	27.8
分控金および負担金	70,720	41.2	消防費	131,517	91.9
使用料および手数料	57,196	52.7	教育費	550,055	58.6
国庫支出金	493,030	17.5	災害復旧費	31,770	1.3
県支出金	278,219	8.5	公債費	491,636	47.7
財産収入	64,132	77.4	予備費	7,000	0.0
寄附金	660	35.5			
繰入金	109,876	0.4			
市債	537,810	0.7			
その他	293,737	44.8			
合計	4,678,714	43.3	合計	4,678,714	47.0

※歳入歳出予算現額には、繰越額21億863万円を含んでいます。

特別会計の収支状況 (9月末現在・単位：万円) 【表2】

会計	予算現額	収入済額	執行済額	執行済率(%)
国民健康保険	826,890	280,663	464,656	56.2
老人保健	1,652,187	649,572	650,373	39.4
同和対策資金貸付	3,588	1,693	259	7.2
下水道	698,636	87,584	516,567	73.9
土地取得	16,287	0	3,201	19.7
駐車場	4,803	2,593	3,212	66.9
農業集落排水	181,303	10,268	148,375	81.8
漁業集落排水	4,070	0	2,834	69.6
特別林野	3,606	1,210	674	18.7
合計	3,391,370	1,033,583	1,790,151	52.8

※歳入歳出予算現額には、繰越額29億6,106万円を含んでいます。

市有財産現在高 (9月末現在)

区分	9月末現在高
土地	347万9027.01㎡
建物	31万4290.22㎡
山林	6459.17ha
立木	81万1455㎡
有価証券	9360万円
出資による権利	6億4113万7730円 3104.09㎡
債権	15億4000万1582円
基金	104億6675万9600円
土地	1498.52㎡

市債の状況

区分	9月末現在高
一般会計	468億5306万円
特別会計	297億4498万円
合計	765億9804万円

・長寿社会対策、福祉の充実
・高齢者生きがいセンター整備、

市有財産、市債の9月末残高は左表の通りです。

率43・3パーセント、執行済率47・0パーセントとなっています。また、上半期に実施または着手した事業のうち、主なものは次のとおりです。

- ・中心市街地の活性化
市街地再開発事業等に係る基本計画の策定・調査
- ・学校教育の充実
大内小学校舎増築、平川中給食室新築、大内中屋内運動場増改築
- ・体育施設の充実
南部運動広場照明整備、スポーツの森多目的広場整備など
- ・生活基盤の整備
生活道路、公園、土地区画整理、ごみ集積施設など

- ・介護保険制度導入準備事業、留守家庭児童学級整備など
- ・農林水産業の振興
道の駅「仁保の郷」整備事業、林道大平線・大平支線開設工事
- ・住宅の整備
佐山住宅整備事業

◆特別会計

特別会計の収支状況は表2のとおりです。このうち、下水道事業では、平川、大内御堀、宮野、吉敷、大歳の一部を整備しています。また、農業集落排水事業では、仁保、名田島地区について整備を進めています。

11月の放送
予定です

◆テレビ◆ 山口のんた情報

山口ケーブルテレビで毎日午前8時20分、午後1時20分、午後6時、午後10時35分から「ほうふほつとライン」「小郡あのねのね」と3交代で20分放送（時間は日によって変わります）

○11月1～15日放送

「名球会がやってきた！」
プロ野球名球会の選手達による野球教室や山口選抜との試合の模様などを紹介します。

○11月16～30日

「ハッピーロードやまぐち」
市制70周年記念文化事業として中心商店街で行われるイベントの様々とともに、取り組まれている皆さんを紹介します。

わたしたちのまち山口

毎週日曜日、午前11時40分からテレビ山口で放送。

○11月7日・14日放送

「山口市情報公開制度・個人情報保護制度」

10月1日から始まりました山口市情報公開制度・個人情報保

護制度について紹介します。

やまぐちしま専科

毎週水曜日、午後5時30分頃から山口朝日放送の「5時からワイド」の1コーナーで放送。

○11月10日放送

「中原本也記念館企画展」
「中也の奇跡V」『在りし日の歌』のなかの子供』をテーマに中原本也記念館で開催される企画を紹介します。

○11月17日放送

「ホタル放流の集い」
各地で行われるゲンジボタル放流の様子と、小学校の飼育報告を写真で紹介します。

○11月24日放送

育児講座「親子で遊ぼう」
市保健センターで開催される講座を通して、健やかな子どもの成長について、山口市の取り組みを紹介します。

◆ラジオ◆

シティ・インフォメーション

毎週月・金曜日の午前9時26分からFM山口で放送。

やまぐちマイタウン

毎週木曜日、午後1時40分から山口放送ラジオの「わくわくワイドひるらじ」の1コーナーで放送。

携帯電話は車を止めてから

11月1日から走行中の
使用が禁止されます

最近、自動車運転中に携帯電話やPHSなどを使用して交通事故になるケースが増えています。これを受けて道路交通法の一部が改正され、「携帯電話等の走行中の使用等の禁止」に関する規定が11月1日から施行されます。

規定に違反したことによって道路交通の危険を生じさせた場合は、3か月以下の懲役または5万円以下の罰金の対象となります。また、基礎点数が2点付され、反則金の額は普通車で9,000円となります。

自動車運転中の携帯電話の使用はやめて、安全運転を心がけましょう。



Q&A 保険年金

老人医療について

除年金課までお問い合わせください。

Q 老人医療受給者が交通事故にあった場合、老人医療で治療は受けられるのでしょうか？

A 第三者から受けた傷病は、加害者が被害者の治療費を負担するのが原則ですが、「第三者行為による傷病届」を提出されれば、老人医療で治療を受けることもできます。この場合、山口市が治療費を一時立て替えて支払い、後日、加害者からその治療費を返していただくようになります。

Q 先月、有床の義歯（総入れ歯等）を作成したのですが、なじめないで再度老人医療で作成し直すことはできますか？

A できません。義歯については、原則として6か月以内に2度作成することはできないことになっています。あらかじめ歯医者さんと相談し、治療内容、費用などについて納得したうえで、作成してください。なお、紛失等やむを得ない場合には、市保

○問い合わせ 市保険年金課
(☎34-2803)

カメラさんぽ



緑あふれる 都市緑化祭

晴天のなか行われた今年の都市緑化祭。市制施行70周年を記念してのクイズや、餅まき、竹細工コーナー、せん定実技講習会など内容盛りだくさんで、おとずれた市民は緑あふれる1日を楽しんでいました。(10月17日)



助け合い 赤い羽根共同募金

佐内市長や関係者の皆さんが中心商店街で赤い羽根共同募金への協力を呼びかけました。募金は12月まで全国で展開され、お年寄りや子ども、障害者のために、またボランティア活動に役立てられます。(10月1日)

◇問い合わせ 市課税課管理担当
(☎ 34-2734)

後山口市のナンバープレートをつけていただくこととなりますので、A市で廃車手続きをされた場合は廃車証明書と所有者の印鑑、A市で廃車手続きをされていない場合はA市のナンバープレート、所有者の印鑑、車体番号の確認できるもの(標識交付証、自賠責保険証券など)を持って、山口市役所課税課で手続きをしてください。



永く後世へ伝えたい 山口鷺流狂言保存会結成45周年記念公演

山口鷺流狂言保存会が昭和29年に結成されてから今年で45年。これを記念して、野田神社能楽堂で記念公演が開催されました。約500人の観客は、会員の迫真の演技に目を奪われていました。(10月16日)



秋の風物詩・アートふる山口

今年で4回目を迎え、山口の秋の風物詩となっているアートふる山口。今年も一の坂川、堅小路周辺はアートでいっぱい。前回より18ものイベントが増え、よりパワーアップした内容に、おとずれた人たちは芸術の秋を堪能しました。(10月2日・3日)

市税 Q&A

原付バイクの
転入手続き

Q 私、A市から山口市に転入してきました。50ccのバイクを持っているのですが、どのような手続きをすれば良いのでしょうか。

A 軽自動車税は、軽自動車の主たる定置場の市町村が課税することになっており、税の賦課の適正と徴収の確保を図るため、主たる定置場の市町村のナンバープレートの交付を受ける必要があります。したがってあなたの場合、今後山口市のナンバープレートをつ

平成11年度
山口市職員採用試験

試験区分	試験職種	採用予定人数	受験資格
技能	環境衛生整備員	5人程度	昭和53年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた人で中学校卒業以上の学歴を有する人
	給食調理員	3人程度	昭和49年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた人で中学校卒業以上の学歴を有する人

◇受付期間 11月1日(月)～11月18日(木・必着)

◇第1次試験

◇期日 11月28日(日)

◇場所 山口市役所

◇受験申込書の請求 受験申込書は、市職員課、市役所受付または各出張所にあります。郵送で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先明記の返信用封筒(角形2号へA4版)に240円切手を貼って同封してください。

◇申し込み 市職員課(〒753-18650 亀山町2-1 ☎34-2727)

湯田温泉活性化シンポジウム 参加者募集

湯田温泉の活性化について、行政、業界団体、事業者、市民の皆さんで考えるシンポジウムを開催します。

住民参加型ワークショップ「湯田温泉21世紀フォーラム」で、市民の皆さんからいただいたさまざまな意見や、「21世紀の湯田温泉を考える会」で審議されている内容も紹介します。



湯田温泉21世紀フォーラム

◇日時 11月20日(土) 午後1時30分～3時30分

◇場所 かも福(湯田温泉4丁目5-2)

◇パネリスト(予定) 山口大学

経済学部教授 植村高久氏、湯田地区町内会連合会代表 伊藤健生氏、湯田温泉旅館協同組合副理事長 宮川力氏、湯田温泉を浴する会代表 佐原譲氏、九州芸術工科大学助教授 藤原恵洋氏、山口市経済部長内田武義
◇募集人員 約200人(応募者

多数の場合抽選)

◇入場料 無料

◇申し込み 11月12日(金)までに電話、FAXまたははがき(住所、氏名、電話番号を記入)で市商工観光課(〒753-18650 亀山町2-1 ☎34-2810)へ

ルーラル315・376フ

エスタ

国道315号・376号沿いでさまざまイベントや朝市が行われます。7日には仁保公民館とJA仁保支所で「仁保大農業まつり」を開催。新鮮な野菜や花、まつたけご飯の販売などがあります。

◇期日 11月6日(土) 7日(日)

◇場所 仁保いりどり市(仁保中郷井開田バス停前)

◇内容 朝市、5カ所以上のポイントを獲得すると抽選で県内産「晴るる」や地域の特産品が当たるスタンプラリーなど

◇問い合わせ 市農政課(☎34-2816)

11月15日実施のサービスマイ基本調査にご協力を

この調査は、日本のサービス業の事業・活動を行っている事業所の経済活動および業務の実態を調

査し、全国および地域別のサービス業に関する基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象となる事業所には、11月上旬から県知事が任命した調査員が伺いますので、ご協力お願いします。

◇問い合わせ 市企画調整課(☎34-2748)

中小企業年末資金融資

◇使途 運転資金

◇限度額 1企業500万円以内

◇融資期間 5か月以内

◇融資利率 2.2%

◇申し込み 12月30日までに、山口信用金庫、山口銀行、吉南信用金庫、西京銀行、広島総合銀行、西日本銀行、第一勧業銀行、津和野信用金庫へ

◇問い合わせ 市商工観光課(☎34-2809)

名画シアター「愛をこつひと」上映会

◇日時 11月14日(日) 初回：午前9時30分から/2回目：午後1時から(上映時間2時間15分)

◇入場料 無料

◇場所・問い合わせ 山口南総合センター(名田島1218-1 ☎0839-72-8333)

自分流旅づくり

◇日時 11月13日(土) 20日(土)

27日(土) 午後1時30分～午後

3時30分、28日(日) 午前10時

30分～午後3時(全4回)

◇場所 山口市働く婦人の家

◇主な内容 魅力いっぱい韓国の

旅、夢大陸アメリカ・カナダ、

すてきな旅行を楽しむために、

食事でのマナーなど

◇費用 資料代1050円、教材

代1200円

◇申し込み 往復はがき(住所、

氏名、年齢、電話番号、職業の

有無を記入)で山口市働く婦人

の家(〒753-0056湯田

温泉五丁目1-1 ☎21-192

9)へ

おとしよりに

マッサージュの治療奉仕を

◇日時 11月14日(日) 午前10時

～正午(受付開始 午前9時30

分)

◇場所 老人憩いの家寿泉荘(湯

田温泉五丁目)

◇対象 70歳以上の人 70人(先

着順)

◇料金 無料

◇問い合わせ 山口市盲人福祉協

会会長 村岡正さん(☎23-3

903)

県税の「休日・夜間の納税 相談窓口」を開設します

◇日時 11月5日(金)～8日

(月) 午前8時30分～午後5時

(平日は午後9時まで)

◇対象 平日・昼間に都合の悪い

人、納税できない事情がある人

◇場所・問い合わせ 山口県税事

務所(神田町6-10 ☎25-31

11)

都市計画制度に関する意見を募集します

開発許可や線引き等、まちづく

りの基本となる制度を定めた都市

計画法は、施行後30年が経過し、

社会情勢の変化に対応するための

見直しが進められています。

これまでの検討状況を公表し、

広く意見を募集します。内容は、

都道府県の都市計画に関するマス

タープランの創設、都市計画区域

外における開発行為及び建築行為

についての考え方などです。

◇応募締切 11月10日(水)

◇資料請求 建設省ホームページ

(<http://www.moc.go.jp/>)へのア

クセスまたは200円切手を貼

った封筒A4版を同封し県都市

計画課まちづくり推進室(〒7

53-8501滝町1-1)へ

山口芸術短期大学

社会人入学学生募集

◇募集人員 音楽学科(ピアノ、

声楽、管弦打、電子オルガン、

音楽指導コース) 10人/芸術文

化学科(ビジュアルデザイン、

環境・インテリアデザイン、造

形美術、生活芸術、人文コース

10人/保育学科(表現、文化コ

ース) 5人

◇対象 高卒以上の学力があり、

卒業後4年以上経過した社会人

◇出願締切 11月12日(金)

◇1次試験期日 11月16日(火)

◇資料請求・問い合わせ 山口芸

術短期大学学生部(〒754-0

0001小郡町上郷 ☎0839

72-2880)

第8回山口矯正展

◇日時 11月13日(土) 午前9時

30分～午後4時30分/14日(日)

午前9時～午後3時30分

◇場所 やまぐちリフレッシュパ

ーク(大内長野1107)

◇内容 広報コーナー(行刑施設

での被収容者の生活等につい

て、写真パネル、ビデオ放映等

による紹介と、受刑者が所内で

作成した文芸作品の展示、性

格診断コーナー、ガーデニング

製品、ガラス工芸品、ダンス、

靴、みそ、しょうゆ、子供服等

の展示・即売コーナー

◇問い合わせ 山口刑務所企画部

門 山根さん(☎22-1452)

やまぐち文化発信ショップ

ミニ講座

【1回目】

◇期日 11月6日(土)

◇テーマ 「サビエル時代の宣教

師・通辞等が文化交流に果た

した役割」講師 山口県立大学教

授 熊本守雄氏

【2回目】

◇期日 11月13日(土)

◇テーマ 「町づくりと都市工学」

講師 山口県立大学教授 高瀬

忠重氏

【3回目】

◇期日 11月20日(土)

◇テーマ 「山口商店街とイソッ

プ物語」講師 山口県立大学教

授 武市眞弘氏

前記いずれも

◇時間 午後2時～3時

◇場所 街づくり山口事務所(西

門前商店街内)

◇受講料 無料

◇問い合わせ 山口文化発信シヨ

ップ事務局(☎25-2300)

タンドリーチキン

タンドリーチキンとは、スパイスとヨーグルトにつけこんだ鶏肉を、タンドールという土でできた筒型の釜で焼いたインド料理です。

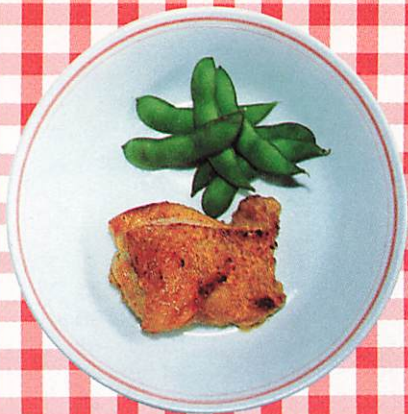
鶏肉をつけこむスパイスに、子どもたちの好きなカレーを使

い、その辛みをまろやかにし、鶏肉を柔らかくするのに、ヨーグルトを加えています。乳製品が苦手という人も、料理に入ると無理なく食べることができますね。

給食では、オーブンで焼いています。油で揚げてもよく、また冷めてもおいしく食べることもできるので、お弁当のおかずにも適しています。ご家庭でも、一度作られてみてはいかがでしょうか。

名田島小学校栄養士

西元由紀子



タンドリーチキン

エネルギー119kcal たんぱく質9.2g
(1人分)

材料 (4人分)

鶏もも肉	200 g
食塩	少々
こしょう	少々
たまねぎ	30 g
にんにく	2 g
しょうが	2 g
カレー粉	小さじ 3/4
しょうゆ	小さじ 1
ヨーグルト	40 g
酒	小さじ 1

作り方

- ①鶏肉を4つに切り、塩・こしょうをする。
- ②たまねぎ・にんにく・しょうがをすりおろす。
- ③すりおろした野菜と調味料、ヨーグルトを混ぜ合わせ、鶏肉をつけこむ。
- ④つけこんだ鶏肉をオーブンで焼く。

※揚げてもおいしくできます。

揚げる場合は、つけこむ野菜の量を少なめにしましょう。



カレーの味がしてすごくおいしい。

(名田島小学校1年のみなさん)

編集後記

▽なげなしのお金をはたいて買ったパソコン。今までも増して寒い冬がきそう(〇)▽最近、台風、地震、臨界事故など怖いことばかり。これも世紀末のあらわれか(Y)▽ふるさとCM大賞。コンセプトはズバリ「山口市が好きだ!」。皆さんの評価はいいかに:(ふ)▽早々とストーブに火を入れました。今年の冬は?(プ)▽このままいくと「四季」という言葉は死語になるかも:(T)▽秋深し 動物占い 奥深し(ノ)

表紙写真説明

10月17日、第10回西日本車いすロードレース大会が、県維新百年記念公園を発着点に開催されました。さわやかな秋空の下、選手たちは体のハンディを感じさせない走り、山口のまちをさっそうと駆けぬけていました。

